

2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[追手門学院大手前中学校] 担当教諭名[濱崎 春奈] (2年4組 26名)

交流相手国[カザフスタン]

海外学校名[School Lyceum #35] 担当教諭名[Larissa Selezneva]

■実施教科・時間数について教えてください。

| | 教科 | 単元名 | 時間数 |
|-------------------------|-----------|---------------------|-----|
| アートマイルに関連した 実施教科・時間数 | 総合的な学習の時間 | カザフスタンについて知る／ テーマ決め | 2 |
| | 英語 | 下絵描き、色塗り | 3 |
| | 放課後の時間 | 色塗り | 5 |

■作品について教えてください。

| | |
|------------|------------------------------------|
| 題 (テーマ) | 文化、建築 |
| 絵に込めたメッセージ | 学校の目の前にある大阪城と、日本の夏の風物詩を伝えようと描きました。 |



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

| 成 果 | 課 題 |
|------------------------------|---|
| 今までなじみがなかった国について興味を持つようになった。 | 現時点での英語力では、言いたいことを言うための語彙力がついていなかったもので、授業でできるだけたくさんの語彙と表現を身に付けさせねばならない。 |

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

| 児童生徒の意識の変化 | 教師の意識の変化 |
|--|---|
| 壁画が出来上がるまでのスケジューリングを自分たちで考え、主体的に壁画に取り組もうとした。一人一人が責任を持って仕上げようと努力できるようになったと思う。 | 「してやらねばならない」と思っていたことも、「生徒に任せる」と、時間が経つに従って作業を見守る方へと変化した。 |

■主な活動の流れを教えてください。

| 場面 | 時期 | 活動内容 | 児童生徒の反応 | 実施教科等 |
|---------|------------|---|---|--------|
| 自己紹介 | 9月 | 一人一人自己紹介を紙に書き、グループ毎に写真を撮り、フォーラムに掲載した。 | 恥ずかしがりながらも、一生懸命に英語で文を作り、伝えようとしていた。 | 総合学習 |
| テーマ学習 | 6月 | 「カザフスタンへの誘い」と題して、地理の教員に中央アジアについての授業を行ってもらった。 | 中央アジアについて興味を持ち、自分たちとの共通点を探ろうとした。 | 総合学習 |
| 構図決定 | 10月 | クラス皆で何を描きたいかを話あった。描くものを決め、グループに分かれて担当を割り当てた。 | 最初はぐずぐずしていたけれど、徐々に意見がまとまり、構図を決めることに夢中になっていった。 | 総合学習 |
| 壁画制作 | 11月 12月 | パレットは各自が家庭から発砲スチロールのトレイを持参した。限られた色で、調合しながら色を作り、色作り係り、塗る係りなど、分担して作成した。 | 色の調合が上手い人、細かい線を上手に引ける人など、生徒たちがそれぞれの得意分野を見出し、役割分担をして上手く作業をしていた。 | 総合学習 |
| 鑑賞・振り返り | 3月 | まだカザフスタンから荷物が届いていないので、フォーラムに投稿された完成壁画を鑑賞した。 | 馴染みのない国の自然や民族衣装がとてもよく描かれていることに驚き、いつか訪ねたい国になるなど、カザフスタンにますます興味を持った。 | ホームルーム |

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入（A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった）

「成果」先生の手応え（5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった）

| 学習目標・つけたい力 | 目標 | 成果 | 成果についてそう感じた場面・理由 |
|--------------------------|----|----|---|
| 自文化の理解 | B | 4 | 「大阪と言えば」の話合いで、意見を積極的に述べる事ができた。 |
| 異文化の理解 | A | 5 | 思った以上に中央アジアに関心を持ち、インターネットや図書館で調べ学習をしていた。 |
| コミュニケーション力 (説明・共感・英語) | A | 5 | 英語でのやり取りはまだまだであるが、クラスの仲間とのやり取りにおいて、お互いを思いやりながらの意見交換が頻繁に出来た。 |
| 情報活用能力 (情報収集・発信) | A | 4 | カザフスタンについての情報をインターネットや本で調べ、発表できた。 |
| 人間関係をつくる (学級内・交流相手) | A | 5 | 交流相手との交流はあまりできなかったが、学級内では各自の発表に耳を傾けたり、作業の際には相手を思いやる行動が多く見られた。 |
| 協働する力 (役割分担・協力) | A | 5 | 毎回の作業で、絵具を塗る際の段取りを考えたり、道具の準備をしたり、自分以外の人のことを思いやる行動が出来た。 |
| 学習を追究する意欲 | A | 4 | 中央アジアについて調べたことを各自が発表し、クラスの皆と情報を共有した。 |
| 表現力 (伝えたいことを絵で表す) | A | 4 | 困難もあったが、自分たちが描こうとした大阪城や花火浴衣を上手に描き上げた。 |
| 作品を鑑賞する力 | A | 3 | ネット上での鑑賞のみの状態なので、実物を見ないと何とも評価し難い。 |